

平成30年5月15日開催 第2回県政ランチミーティングに寄せられた ご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・開催日 平成30年5月15日(火) 11:30~12:30
- ・会場 ビストロカモミール
- ・参加グループ 池田町農産物加工組合カモミールの会
- ・懇談内容 農村女性による地元食材を用いた商品開発と地域の活性化等について

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

(1) これからの経営の方向性について

(ご意見の概要)

将来の経営の方向性について行政等に相談している。ブランド化してきた商品や活動をどう次につなげていくかが課題で絶えず話し合っている。よいものを作りたいという思いを貫き通しているので人件費にしわ寄せが及んでおり、新しい仲間が入っても、次の世代につなげていくところまで進んでいかない。それを解決することが次につながると思うが、どうしたらよいか。

(知事の発言)

創業から10年が経っているので、次のステップをどうするか考える時期ではないか。これまで熱い思いでやってこられたとのことだが、これからは事業規模を拡大して利益を増やしたいのか、今の規模を維持して生産性を上げるかなど、いくつか選択肢があると思う。皆さんの方向性が決まれば、周りからもアドバイスや適切な応援の方法を検討できるのではないか。

(ご意見等に対する対応状況)

主体的に経営参画している農村女性の意向を尊重し、経営方針と運営方法の見直しに係る相談活動を進めてまいります。

食品に対する消費者意識の変化に対応しつつ、地元農産物の理解につなげる啓発活動を進めてまいります。

【担当課：北アルプス地域振興局 農業改良普及センター】

(2) 持続可能な経営につながる支援について

(ご意見の概要)

施設の利用形態等のこともあり、1~2年で経営状況が変わる不安定な状況が続いている。販売を続けていく商品を精査する時期が来ると思うが、その時どう対処できるかが課題になってくる。将来へつなげていくにはどうすべきか。

(知事の発言)

持続可能な経営にするには利益がないといけない。儲けを出すか、無償の奉仕に頼る

か、補助金に頼るか等の方向性があるが、無償奉仕に頼るのは限界がある。行政は、どんなによい活動でも補助金をいつまでも出すことはできない。自立していくのが最適だと思う。自立について、県ができる支援は複数あると思う。

(ご意見等に対する対応状況)

会員の意識変化に応じて継続可能な組織体制を共に検討します。(平成30年11月13日に考え方のきっかけとなる研修会を実施済み。相談活動を継続します。)

組織の活動目的に賛同する外部者に理解と応援が得られるように、農村女性セミナーや研修会を通じて、若い世代にも農村女性の活動を紹介し理解が深まる機会を設けます(同年11月19日実施済み)。

【担当課：北アルプス地域振興局 農業改良普及センター】

3 問合せ先

企画振興部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp